

新型タバコも危ない？ 喫煙とお口の健康や口臭について

講演要旨



東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 健康推進歯学分野 教授 **相田 潤**

タバコは健康に悪い、というのは誰でもご存じかと思います。最近、新型タバコ（加熱式タバコや電子タバコ）が登場し、健康に良いようなイメージもあるのではと思います。まだ研究は少ない新型タバコと健康の研究ですが、やはり新型タバコも健康に悪いのでは、という報告が出てきています。新型タバコがお口の健康に重要な歯周病を増やす可能性を示唆する研究も出てきています。

タバコといえば、健康のことだけでなく、においが気になることもあるかと思います。タバコを吸うことは口臭を増やすことも知られています。喫煙の後、一時的に口臭がすることに加えて、喫煙が歯周病の原因となり、歯周病が口臭の原因になることも分

かっています。

また、歯周病は歯が抜ける大きな原因ですから、タバコを吸うことで歯周病になり、将来歯を失う可能性が高まります。受動喫煙ですら、歯が抜ける可能性を高めることが示唆されています。

口臭や歯が抜けることは、人と会うことに恥ずかしさやためらいを覚えさせる原因になる場合があります。歯が少なくなった人で、人との交流が減り、それが健康にマイナスの影響を及ぼすことも報告されています。

このように口の健康を通すだけでも、タバコは様々な影響を私たちに与えています。最新の研究データも交えながら、この実態を解説したいと思います。

略歴

2003年 3月 北海道大学歯学部 卒業
2004年 3月 国立保健医療科学院専門課程 修了
2007年 3月 北海道大学大学院歯学研究科博士課程 修了
2007年 4月～2011年3月 東北大学大学院歯学研究科 助教
2010年 4月～2011年3月 University College London 客員研究員
2011年11月～2020年7月 東北大学大学院歯学研究科 准教授
2020年 8月～2021年5月 東北大学大学院歯学研究科歯学
イノベーションリエゾンセンター
地域展開部門 教授（クロスアポイントメント）
2020年8月～現在 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
健康推進歯学分野 教授

専門医・指導医・学会活動

- 日本口腔衛生学会 認定医・指導医
- 日本疫学会 上級疫学専門家